

紀南地域の県立高校に関するアンケート（案）

紀南地域の中学1・2年生の保護者のみなさんへ

令和4年〇月

紀南地域高等学校活性化推進協議会

本協議会では、当地域の県立高校の活性化について協議しており、その中で進学を控える生徒・保護者の方々の意見を参考に進めていきたいと考えています。つきましては、以下の資料1、2を参照のうえ、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。（当地域の中学2年生を対象に、別途、アンケートを実施しています。）

なお、お子さんが中学校に2人以上在籍され、このアンケートを2枚以上受けられた場合は、回答済みのアンケートを1枚いずれかのお子さんを通じ、ご提出いただければ結構です。

【資料1】

○グローバル化やデジタル化などの社会の大きな変化、少子・高齢化のさらなる進行、教育的ニーズの多様化が進む中、令和4年3月に策定した「県立高等学校活性化計画」では、これからの子どもたちにとって魅力ある県立高等学校のあり方や活性化について検討し、実現していくこととしています。

○その中で、15年先までの中学校卒業者の減少の状況等をふまえると、これからの時代に求められる学びを提供していくには、現在の県立高校の配置を続けていくことは難しい状況であるため、各地域の活性化協議会において、高等学校の学びと配置のあり方についての検討を丁寧に進めるとして、紀南地域においては、本協議会で検討を進めています。

○令和4年度の紀南地域の全日制県立高校1年生の総学級（定員）は、木本高校（普通科3学級・総合学科1学級 160人）と紀南高校（普通科2学級 80人）で合計6学級、240人となっています。

○本協議会では、15年先までの中学校卒業者の減少の状況等をふまえ、当地域の県立高校の学びと配置のあり方について検討しています。今年度は、**令和7年度に入学する1年生の学級数の合計が5学級になることに対して、今後の両校のあり方を統合も含めて具体的に協議を進めています。**

	令和4年3月	令和7年3月	令和12年3月	令和16年3月
中学校卒業生数	268人	231人	200人	170人
総学級数	6学級	5学級	4学級	3学級

※中学校卒業生数：令和7、12年は予測値、令和16年は地域の出生数

裏に続きます

【資料2】質問3にかかる関連資料

令和7年度における両校の学びのあり方

①2校を統合した学校で学ぶ（1校5学級）

- ・選択科目をより多く開設することや総合学科の系列を増やすことなどにより、進学や就職に向けた多様な進路希望にも幅広く対応できる。
- ・まとまった人数になることで、部活動や学校行事がより活発になる可能性が広がり、多様な価値観に触れる中、社会性・人間性の育成がより一層期待できる。
- ・地域の高校が1つとなる中においても、生徒がより目的意識を持って学習できるよう、総合学科の系列を増やすことや普通科のコースを設置することなど、学校の中に多様な学びの選択肢をつくる工夫が必要である。
- ・生徒によっては、通学により時間がかかる場合がある。

②2校を統合して1校を分校とし、2つの校舎で学ぶ（本校4学級+分校1学級）

- ・本校は大学進学に対応する選択科目の開設や、部活動・学校行事を継続することができる。分校は生徒一人ひとりにより目が届きやすく、きめ細かな指導につながりやすい。また、規模は縮小するものの地域と協働した学びを継続することができる。
- ・2校舎が存続することにより、生徒の通学環境は大きく変わらない。
- ・分校では教員が減少するため、両校舎の教員が移動しての授業やICTを活用した遠隔授業などに取り組むものの、移動時間、2校の日課、効率等を考慮すると、実施できる授業は一部の教科に限られる。
- ・分校では部活動や学校行事は縮小するため、両校舎の生徒が集まって活動することなどにより社会性の育成に取り組むものの、生徒の移動にかかる負担もあり、合同での活動の頻度は限られる。

③統合せずに、それぞれの学校で学ぶ（1校3学級+1校2学級）

- ・2学級規模の学校では、これまでと同様、生徒一人ひとりへのきめ細かな指導や地域と協働した学びを継続することができる。
- ・2校が存続することにより、生徒の通学環境は大きく変わらない。
- ・3学級規模の学校では、生徒数、教員数が減少することにより、大学進学に対応する選択科目の開設や部活動・学校行事の縮小が考えられる。
- ・地域における高校の選択肢は維持されるものの、両校とも3学級以下の小規模な学校となる。

（ 参 考 ）

今年度のこれまでの協議会の概要や配付資料については、下記の県のHPをご覧ください。

第1回協議会（6/7）

第2回協議会（7/14）

<https://www.pref.mie.lg.jp/SINGI/m0044800070.htm>

https://www.pref.mie.lg.jp/SINGI/m0044800070_00001.htm



紀南地域の県立高校に関するアンケート

< 質 問 > あてはまる選択肢の番号に○を付けてください。

(現在の居住地はどこですか。) ①熊野市 ②御浜町 ③紀宝町

1 お子さんが高校を選ぶとき、重視することは何ですか。2つ以内で選んでください。

- ① 大学進学につながる学力向上を目指した学習ができる
- ② 就職につながる専門的な知識や技能、資格が習得できる
- ③ 進学や就職など多様な進路に応じた学習を選択することができる
- ④ 文化祭や体育祭などの学校行事が充実している
- ⑤ 入りたい部活動がある
- ⑥ 多くの友だちや先生と出会うことが期待できる
- ⑦ 一人ひとりに目が行き届きやすく、きめ細かな教育が期待できる
- ⑧ 通学しやすい
- ⑨ その他 ()

2 お子さんが入学する高校には、どのような教育を期待しますか。2つ以内で選んでください。

- ① 主体的に学び続ける力を育む教育
- ② 進路選択の力を育む教育
- ③ 地域と協働しながら課題解決力を育む教育
- ④ 人権意識を高める教育
- ⑤ 学び直しや基本的な知識の習得ができる教育
- ⑥ ICTを積極的に活用した教育
- ⑦ グローバル社会で活躍できる力を育む教育
- ⑧ 社会性や協調性、コミュニケーション能力を育む教育
- ⑨ 社会人として必要なマナーや礼儀・責任感を身につけることができる教育
- ⑩ その他 ()

3 令和7年度に地域の全日制高校1年生の総学級数が現在の6学級から5学級になると見込まれています。このことをふまえ、本協議会では2校の学びのあり方を具体的に協議しています。あなたの意見は以下のどれに近いですか。別紙の資料2を参考に、次の①～③からひとつ選んでください。

- ① 2校を統合した学校で学ぶ (1校5学級)
- ② 2校を統合して1校を分校とし、2つの校舎で学ぶ (本校4学級+分校1学級)
- ③ 統合せずに、それぞれの学校で学ぶ (1校3学級+1校2学級)

4 3を選んだ理由を記入してください。

5 今後の紀南地域の県立高校の学びと配置のあり方について、ご意見があればお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

高校に関するアンケート（案）

紀南地域の中学2年生のみなさんへ（お願い）

令和4年〇月 紀南地域高等学校活性化推進協議会

1 あなたは、どこに住んでいますか。次から1つ選んでください。

- ① 熊野市 ② 御浜町 ③ 紀宝町

2 あなたの学校の2年生の生徒数は何人ですか。次から1つ選んでください。

- ① 20人以下 ② 21～40人 ③ 41～80人 ④ 81～120人

3 あなたが高校を選ぶとき、重視することは何ですか。2つ以内で選んでください。

- ① 大学進学につながる学力向上を目指した学習ができる
② 就職につながる専門的な知識や技能、資格が習得できる
③ 進学や就職など多様な進路に応じた学習を選択することができる
④ 文化祭や体育祭などの学校行事が充実している
⑤ 入りたい部活動がある
⑥ 多くの友だちや先生と出会うことが期待できる
⑦ 一人ひとりに目が行き届きやすく、きめ細かな教育が期待できる
⑧ 通学しやすい
⑨ その他（3-2の自由記述へ）

3-2 3で「⑨その他」を選んだ人は、重視する内容を書いてください。

4 高校には様々な学科や課程での授業があります。あなたが高校に進学するとしたら、どのような学習をしたいですか。次から2つ以内で選んでください。

- ① 国語・社会・数学・理科・英語など中学校で学習する内容を深める学習
② 音楽や美術など芸術についての学習
③ スポーツや保健体育についての学習
④ 商品の流通・販売、簿記などビジネスの基礎についての学習
⑤ 介護や福祉関係の職業につくための学習
⑥ 医療や看護関係の職業につくための学習
⑦ 地域の文化や産業等について学び、地域活性化を考える学習
⑧ わからない、まだ決まっていない。
⑨ その他（4-2の自由記述へ）

4-2 4で「⑨その他」を選んだ人は、学習したい内容を書いてください。

5 あなたが入学する高校には、どのような教育を期待しますか。2つ以内で選んでください。

- ① 自ら学び続ける力を育てる教育
- ② 自分の将来を選択する力を育てる教育
- ③ 地域について学ぶ教育
- ④ 人権に対する意識を高める教育
- ⑤ 基本的な知識を身につける教育
- ⑥ ICTを積極的に活用する教育
- ⑦ 広く世界で活躍できる力を育てる教育
- ⑧ 社会性や協調性、コミュニケーション能力を育てる教育
- ⑨ 社会人として必要なマナーや礼儀・責任感を身につけることができる教育
- ⑩ その他（5-2の自由記述へ）

5-2 5で「⑩その他」を選んだ人は、期待する内容を書いてください。

6 あなたは高校に行くとしたら、1学年あたりどのくらいの学級数の高校で学びたいですか。次からひとつ選んでください。

- ① 1学級（生徒数 40 人）
- ② 2学級（生徒数 80 人）
- ③ 3学級（生徒数 120 人）
- ④ 4学級（生徒数 160 人）
- ⑤ 5学級（生徒数 200 人）

6-2 6を選んだ理由で最もあてはまるものを、次からひとつ選んでください。

- ① 友だちや先輩、先生など、多くの出会いがあると思うから
- ② 学習や部活動等で自分の興味・関心にもとづく多様な選択ができると思うから
- ③ 友だちや先輩、先生との関係が深まりやすいと思うから
- ④ 先生に学習や生活面できめ細やかな指導を受けられやすいと思うから
- ⑤ その他（6-3の自由記述へ）

6-3 6-2で「⑤その他」を選んだ人は、その理由を書いてください。